

議 事 録

会 議 名	川西市総合教育会議(第1回)		
事 務 局 (担当課)	経営改革課		
開 催 日 時	平成28年10月24日(月) 15時30分から16時30分		
開 催 場 所	川西市役所 4階 庁議室		
出 席 者	委 員	川西市 大塩市長 川西市教育委員会 牛尾教育長、加藤委員、磯部委員、服部委員、鈴木委員	
	関係職員	松木総合政策部長、中塚こども未来部長、木下教育推進部長	
	事 務 局	総合政策部行政経営室経営改革課 作田室長、志波課長、山田主事	
傍聴の可否	可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会 議 次 第	1 開会 2 議事 平成29年度教育施策の課題について 3 その他		
会 議 結 果			

会議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>それではただ今より、第1回川西市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>会議開催に当たりまして、総合教育会議の主催者であります大塩市長からごあいさつをさせていただきます。</p>
市長	<p>本日は、第1回目の川西市総合教育会議を招集しましたところ、ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>昨年度にこの会議を発足してから4回目、今年度は第1回ということでございますが、前回は、平成28年度の教育施策について委員のみなさまと意見を交換する機会とさせていただき、大変有意義な議論ができたと感じております。</p> <p>さて、今回は、議題にもございますように、平成29年度教育施策の課題について、委員の皆様と意見交換をさせていただければと存じます。</p> <p>教育政策について、この短い時間で、議論を尽くすことは難しいとは存じますが、教育長をはじめ、教育委員のみなさまの意見をお聞かせいただき、また私なりの考えも交換できたらと思っていますので、よろしく願います。これからも教育に関しては、いろいろな意見があると思いますが、お互いに意見を交換しながら、協力して川西の教育に取り組みたらと思うところがございますので、今後ともよろしく願いいたしまして、開会にあたりましての私の挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>これよりの議事の進行につきましては、大塩市長にお願いしたいと存じます。</p> <p>市長、よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、この後は、私の方で議事進行をさせていただきます。</p> <p>まず、「平成29年度の教育施策の課題について」を議題といたします。</p> <p>折角の機会ですので、委員の皆様から、平成29年度の教育施策の課題について、ご意見を賜ればと思いますので、よろしく願います。</p>
教育長	<p>はじめに、私から、ご報告等させていただきます。</p> <p>本市教育委員会では、「地域と人の輪でつくる 育ち学び合う教育の推進」を基本理念に、4つの「めざす人間像」をかがげ、教育施策を推進しているところです。</p> <p>それでは、平成27年度総合教育会議にて、協議・調整させていただいた、平成28年度の教育施策の取組みの進捗等について、ご報告させていただきます。</p> <p>はじめに、「確かな学力を育む教育の充実」に関することで、1点目は、「外国語活動の推進」についてです。</p> <p>平成32年度から、小学校で外国語(英語)が教科化となる予定です。小学校3・4年生では、外国語活動として、週1時間の授業が始まり、「聞くことに慣れる」「話すことに慣れる」ことを中心に、コミュニケーション能力の素地を養います。</p> <p>そして、5・6年生では、英語を教科と位置付け、週2時間相当の授業が始まります。身近なことについて、馴染みのある英語表現を使って「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」ことに慣れ親しむ態度の育成を含めて、コミュニケーション能力の基礎を培っていきたいと考えています。</p> <p>教科化に向けて、円滑に取組みが進められるように、平成28年度から、小学校5・6年生を対象にした外国語活動において、外国語指導助手の配置に加え、外国語の指導力を有する地域</p>

発言者	発言内容等
	<p>の人材を“外国語指導支援員”として配置し、外国語教育の一層の充実を図っているところで す。</p> <p>2点目は、「読書活動の推進」についてです。</p> <p>読書は、知識を蓄え、感性を磨き、考える力を養うだけでなく、視野を広げ、想像力を鍛えま す。また、読書を通して、読解力・思考力・語彙力や表現力など、確かな学力を支える基礎的な 能力の発達が促されることは、よく知られています。</p> <p>学校図書館においては、学校司書が、司書教諭と連携を図り、ボランティアの皆さんと協力作 して、図書の分類や整理をはじめ、貸し出しの手続き、読み語りなどを行い、子どもたちが図書に 親しむ環境づくり、図書資料を活用した授業活動へのサポートなどを行っています。読書環境の 整備につきましては、平成28年度において、図書購入費を充実し、文部科学省が示す「学校図 書館図書標準」に対する蔵書率が低い学校へ重点的に配分を行いました。平成29年度には、 すべての学校において、蔵書率が100%達成できるように取組みを進めています。</p> <p>また、新たに、書架を希望校に配置し、図書を効率的・効果的に配架できるように、整備を進 めているところです。</p> <p>3点目は、「ICT機器の活用」「校務支援システムの導入」についてです。</p> <p>学校や児童・生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有することにより、学習 指導や生徒指導等を、より向上させることと、校務の効率化を図り、教職員が子どもたちと向き合 う時間の確保につなげるために、校務支援システムの導入を進めています。</p> <p>校務の情報化検討委員会等を設置し、校務支援システムの導入に向けて、検討を重ねてきま した。現在、校務支援システムの構築及び校務用コンピュータの更新作業を進めており、11月 から、それらが稼働します。機能については段階的に活用していく予定で、名簿管理や出席管 理、保健管理については、11月より教職員研修を実施し、3学期(29年1月)から実際に活用し ていきます。</p> <p>また、成績管理、通知表の作成、指導要録作成機能については、平成29年度より活用する 予定としています。</p> <p>今後は、校務支援システムを最大限に活用し、先にも述べましたように、教職員が子どもたち と向き合う時間の確保や蓄積された子どもたちの情報を活用して、よりきめ細やかな対応を行 い、教育の質のさらなる向上を図ってまいります。</p> <p>4点目は、「スクールソーシャルワーカーの配置」についてです。</p> <p>平成28年度より、川西南中学校区と東谷中学校区に、週1回ずつ、社会福祉士として、専門 知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、特に、家庭環境に課題を抱える児童・生徒 への支援を行っています。</p> <p>配置中学校区の小・中学校をそれぞれ訪問し、気になる子どもの状況を共有したり、学校から 新たに支援が必要な子どもや家庭について、相談を受けたりしています。ケースに応じて、学校 の教員が授業をしている時間帯に家庭訪問を行い、子ども自身や保護者と関係を築き、より具 体的な支援につながるよう努めています。</p> <p>各学校においては、これまでから支援の必要な子どもや家庭については、学校長を中心に、 ケース会議などを開き、スクールソーシャルワーカーが参加することで、福祉的な観点も含めて、 支援内容の検討を行うことや福祉分野の関係機関とのさらなる連携につながり始めています。ま た、スクールソーシャルワーカーとしての地道な取組みが、福祉的な視点を、各学校の教員に広 げていくことにもつながります。</p> <p>今後は、順次、配置中学校区を拡大し、最終的には全中学校区に配置していきたいと考えて います。</p> <p>最後に、「川西“ふるさと教育”の推進」に関するところで、「教科書副読本の改訂」についてで</p>

発言者	発言内容等
	<p>す。</p> <p>現行の副読本をもとに教員の意見を集約し、改訂のポイントを整理しました。さらに、社会科研究会担当の管理職をはじめ、社会科教員、副読本作成のノウハウに長けた専門事業者、教育委員会事務局指導主事で構成する編集会議を開催し、編集方針や新しい単元構成、レイアウト等について、話し合いを行いました。</p> <p>川西市の特徴を連環させる内容と資料、学習指導要領を踏まえた内容、児童・生徒の興味や意欲・関心の高まるデザイン、現行のB5版よりサイズが大きいA B版への変更を活かしたレイアウトなどを取り入れてまいります。</p> <p>今後、教員で執筆を分担し、原稿を作成するとともに、関係部署から資料や写真の提供などの協力を得るなど、平成30年度の配付・活用に向けて取組みを進めてまいります。</p> <p>以上、ご報告とさせていただきます。</p> <p>本内容等については、今からご協議させていただく内容と関連する部分もございますので、各教育委員から、H29年度教育施策の課題等について、提案させていただいた後に、質疑、協議、調整等をさせていただければと思いますが、市長、いかがでしょうか。</p>
市長	<p>はい。ご提案のように進めましょう。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、服部委員からお願いいたします。</p>
服部委員	<p>教育委員会では、天然記念物化を進めているところですが、まだ指定されていない重要な自然は市内にたくさんございます。</p> <p>そういうものを掘り起し、天然記念物指定にもっていきたいと考えております。ただし天然記念物指定というのは、所有者の許可がないと指定が出来ないので、所有者との話し合いがまず必要になります。市の所有地の中にも天然記念物相当のものがかなりありますので、ぜひ市長のほうから天然記念物の申請をお願いしたいと考えております。</p> <p>天然記念物指定を何のためにやるかという、ふるさと川西意識ということ子どもたちや市民の方に持っていただく、そのためにはふるさと川西の良さを伝えなければならない。良さを伝えるにあたって、古墳や建築物のような文化財も重要ですが、それ以外に天然記念物という文化財も非常に重要な役割を果たしています。そのため、天然記念物化を進めることは非常に重要であると考えています。</p> <p>天然記念物化は、1970年代に全国で進みました。川西市も1970年代頃までに、4件指定された後、それ以降は、ずっと指定されず、5年ほど前にエドヒガンが指定されました。それ以降川西市では5件指定されていますが、この5年間で兵庫県内の市町では、全部で8件指定されています。8件の中で5件が川西市ということで、川西市はそのような面でも非常に進んでいるということが言えるのではないかと思います。</p> <p>伊丹市は残念ながら天然記念物にふさわしい物がほとんどないので、指定にふさわしい物を持っている川西市にはどんどん進めていただきたいと思います。</p> <p>天然記念物指定をしたらそれで済むのではなく、広報をしなければならないということになります。1つは看板ですが、教育委員会はあまり予算がないのできちんとした看板を建てたいのと、中身を紹介するような冊子を作って、市民に配布したいと考えています。</p> <p>川西市の例で言えば明らかですが、指定されることによって市民の方々が保全運動に非常に力を入れて頑張っておられる。</p> <p>特に水明台なんかは市民参加によってエドヒガンが守られているということで、ご覧になられる</p>

発言者	発言内容等
磯部委員	<p>というかたが非常に増えているそうです。そういう意味でも見本になるのではないかと思います。</p> <p>川西市の観光、魅力創造、自然環境の保全、環境学習、体験学習、レフネック、産業振興などの課題と市内の日本一の里山だけではなく、エドヒガン、農業用水路、シロバナウンゼンツツジなどの天然記念物という大きな財産を有機的に結びつけていくような構造が必要だと思えます。</p> <p>このことに関しては教育委員会だけではできませんので、市長部局と共に働きかけていきたいと考えております。</p> <p>私からは川西の教育の5つの基本方針の1つに掲げている「未来を切り拓き、たくましく生き抜く力を育む」という視点で話を進めて参ります。</p> <p>ご承知の通り、グローバル化や急激な情報通信技術の進展など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しております。このような変化の激しい社会を生きる子どもたちに、確かな学力や、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生き抜く力」を育成することは、教育現場の重要な課題の1つです。</p> <p>そこで、教育現場で現在取り組んでいる、そして、これから取り組みたいことから、3点お話をいたします。</p> <p>まずはグローバル化への対応として、外国語指導支援員つまり「地域人材を活用した小学校の外国語活動」と「読書環境の整備」についてお話をいたします。その後、急激な情報通信技術の進展への対応として「タブレットを活用した教育内容の充実」についてお話をいたします。</p> <p>では1つ目です。子どもたちがグローバル化に対応していくための手段として、世界共通語である英語を話すことができるようになるというのは言うまでもありません。そこで、先程も教育長からご報告がありました通り、今年度は今までの外国語活動から一步踏み込んで「地域の支援員を活用した小学校の外国語活動」を展開しています。</p> <p>本日は、その取組みの効果をお伝えいたしたく、現場の声や状況をお届けし、来年度の方向性をお伝えしたいと思います。</p> <p>まずは、今年度は学級担任と地域の支援員が授業に際して打ち合わせができるようになったため、チーム・ティーチングの質が格段に向上したことです。その効果の一例として子どもたちが、「正しい発音がわかるようになった。」とコメントをしています。子どもたちはデジタル教材で正しい発音を聞いても、どのように口や舌を動かして声を出せば、正しい発音になるのかわからなかったのが正直なところだと思います。それに対して、地域の支援員の方は、日本人が英語を正しく発音するための様々なコツや工夫を、繰り返し子どもたちの理解度に合わせて教えています。このことが「正しい発音がわかるようになった。」という声につながったと推察します。これは英語を専門にしていない学級担任にもALTの講師にもできなかったことです。</p> <p>また、子どもたちは地域の支援員の方が、日本語も英語も堪能であることに憧れを抱いています。勉強をすれば努力をすれば、自分たちも英語が話せるようになることを身近に感じています。さらに、地域の支援員の方は日本を出て様々な経験をしていることを知り、子どもたちと世界の距離を縮めているのも事実です。</p> <p>子どもたちにとって、地域の支援員の方々はグローバル化の礎を育む良いロールモデルにもなっています。</p> <p>このことから、来年度以降も外国語活動においては、学級担任と地域の支援員の方々、そして、ALT講師とのチーム・ティーチングの質の向上に取り組み、小学校での教科化へのスムーズでクオリティーの高い移行や、小学校の外国語活動での豊かな学びを、中学校進学後の英語教育のレベルの向上につなげたいと思います。</p> <p>では、2点目、「読書環境の整備」についてお話しいたします。まず、読書がなぜグローバル化への対応につながるかという点ですが、私自身グローバル化に対応するために必要なこととし</p>

発言者	発言内容等
	<p>て、いかにアイデンティティを確立できるかが大切であると考えています。</p> <p>先程、服部委員からお話がありました文化財や天然記念物を守り活かすことによる「ふるさと川西意識の向上」も郷土愛を育み、また、シビックプライドの醸成につながり、アイデンティティ確立の一助をなすものだと考えます。</p> <p>また、先程の教育長のお話にもありましたが、多くの読書体験は、豊かな感性や想像力、理論的思考力、語彙力などの総合的な発達には欠かせないものであります。それらは、中学生以降の思春期において、自らのアイデンティティを確立し、人生観や世界観の基礎を培うことに大きな役割を果たすものと考えます。</p> <p>そこで、本日は平成28年度に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果から、「読書環境の整備」に力をいれていきたいことをお伝えできればと思います。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。この図からわかります通り、ここ数年来、小学校や中学校で読書の時間を設けるなどの取組みの成果もあって、「読書が好きだ」と答えた児童生徒が平成25年度に比べて大幅に増え、小・中学校ともに全国平均を上回っています。</p> <p>しかしながら、「昼休みや放課後などに本を読んだり借りたりするために学校の図書館などに週1回以上行く」と答えたものは、平成25年度から微増しただけで、全国平均には遠く及んでいないことは、大変残念に思います。</p> <p>子どもたちの読書に対する思いを活かすためにも、来年度はより魅力的でいつでも足を運べる学校図書館の整備、読書環境の整備に努めたいと考えます。</p> <p>具体的には、今後、学校図書館は、子どもたちが本を選んで読む経験、読書に親しむきっかけを与える「読書センター」の機能とともに、授業で学んだことを確かめ、広げ深める、資料を集めて読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、子どもの主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」の機能を果たしていくことも視野に入れ、魅力ある蔵書と、思わず本を手に取りたくくなるような書架の充実、学校司書のさらなる活用、そして、中央図書館との連携などに力を入れたいと考えます。</p> <p>最後に、急激な情報通信技術の進展への対応として「タブレットを活用した教育内容の充実」についてお話をいたします。子どもたちが未来を逞しく生き抜くためには、避けては通れない課題です。</p> <p>文部科学省では平成23年度から2020年度に向けた教育の情報化に関する総合的な推進方策「教育の情報化ビジョン」の提言を受けて、「学びのイノベーション事業」を実施し、実証研究がなされてきました。その研究からは、小学校・中学校とも、タブレットPCを活用した効果が明確にわかります。</p> <p>6月29日に淡路島で兵庫県女性教育委員の会が開催されました。その際の研修会では、淡路市教育委員会が平成26年から取り組んでいる「フロンティアプロジェクト」の研究発表がありました。プロジェクトが目指すゴールは、児童生徒1人に1台の学習者用端末の活用を礎とした「世界に通用する人材」の育成ということでした。</p> <p>革新的な取組みには、大きな効果もあれば課題もあると思います。また、各市町によって様々な状況も違いますが、平成25年6月に閣議決定された日本再興戦略や第2期教育振興基本計画には、2010年代中に、1人1台の情報端末による教育の展開や、ICTを活用した学びの推進が示されています。</p> <p>川西市教育委員会でも来年度は未来への足掛かりとして、タブレットPCの導入を積極的に考えたいと思っています。</p> <p>以上、私からは川西の教育の5つの基本方針の1つに掲げている「未来を切り拓き、たくましく生き抜く力を育む」という視点で、3点お話をいたしました。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>

発言者	発言内容等
鈴木委員	<p>将来を見据えた力のある公教育は、人を呼びます。また、子育て支援の行き届いている市は若い世帯が住みやすいです。川西市が子育てしやすく安心して働け、若い世帯に選ばれる「あんばいええまち」であってほしいと思います。</p> <p>教育委員会では、川西市子ども・子育て計画を推し進めております。就学前においては、まず、市立保育所が多彩な子育て支援プログラムを展開しております。</p> <p>さらに、幼稚園、目下計画の進んでいる認定こども園と、保護者の価値判断にしたがって教育・保育の形態を選ぶことができます。</p> <p>就学後の子育て支援といたしましては、小学校の留守家庭児童育成クラブの受け入れ対象学年が、平成28年度には6年生まで拡大されます。</p> <p>川西市の留守家庭児童育成クラブでは、27年度より待機児童が発生しており、その解消に向けて指導員の確保に努めつつ、一方で、民間活力の導入を検討しているところです。市として民間事業者に参加してもらいやすい制度を設けたいと考えております。</p> <p>公設公営の育成クラブもその活動の充実のため「放課後子ども総合プラン」で、留守家庭児童育成クラブと放課後子ども教室の連携を進め、すでに市内16小学校区で両者の一体的な運営を実施しております。「留守家庭児童育成クラブ」は共働き世帯等の児童を対象として指導員が家庭的な雰囲気の中で保護者の子育てを支援しています。「放課後子ども教室」は希望するすべての児童を対象に、地域の人材を活かしてさまざまな体験を提供しています。</p> <p>地域の人々の力は放課後だけでなく、学校の教育活動のいろいろな場面に活かされています。</p> <p>川西市では約10年前から、子どもたちの学びを支援し、関わる人の自己実現を促し、地域の絆を強める、言わば「三方よし」の活動を目指して、「学校支援地域本部事業」に取り組んでいますが、これら地域のボランティアを活用した事業を支えているのは、川西の豊かな地域力に他なりません。先ほどの天然記念物と並ぶ川西の財産であります。</p> <p>この地域力をさらに向上させるためには、地域のボランティアの発掘と人材育成学校・家庭・地域の連携協力のしやすい仕組みづくり「地域と学校」「地域と行政」を橋渡ししコーディネートする人材の確保が急務と考えます。</p> <p>参画協働室や地域を基盤としている事業との連携・協働などに努めてまいります。今後、地域力を高めていくうえで、地域への行政的支援がますます重要になると考えられますので、どうかよろしく願いいたします。</p>
加藤委員	<p>「民間保育所整備事業」についてです。</p> <p>具体的には国の待機児童解消加速化プランというものがもともになっています。国が3分の2を出して市が取り組む補助事業です。これをもっと加速化したいということです。29年度までの事業になっております。</p> <p>背景というのが、今までの教育と言うのが学校教育・家庭教育・社会教育の3つあります。同じ方向を向いてきたのが遡ると73年オイルショック、高度経済成長期の時代。それから90年代の初頭くらいまでだと思いますが、安定化した時代までは皆同じ方向に向かっていて役割分担がありました。家庭で鍛えておいて、ある時期が来たら学校に任せて、社会に飛び出す。社会に飛び出したところで、それぞれ家庭に戻るといような循環を行ってきたわけです。</p> <p>それが今になって崩れてきています。経済状態もそうですし、その中に中教審なり、学習指導要領の中に変化が見られまして、今まで同じ方向に向かっていたのにいじめの問題が出てきたり、いろんなことが出てきたりした時に、国がそこを管理して解決するよりも個人に任せておいて、解決方法というのは現場に戻されたり、家庭に戻されたりが多いです。そうなる時に今までのスキ</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>ームが崩れてきているわけですので、教育の結び直しをしないといけません。その状況が今です。</p> <p>学校教育と言うと、ただ教育委員会が参加する学校教育で、学力としつけの2本柱で考えられてきました。その中では絶対解決できないことがあります。さきほど服部先生がおっしゃったように民間の考え方が必要だと思います。その延長線上のコミュニティスクールというのが到達点なのか通過点なのか判断できませんが、民間の活力を入れる、鈴木委員がおっしゃっていた民間も入れてもう少し地域が学校を支える。今回の民間保育所整備事業も民間に入ってもらう。新名神やキセラ川西等とつながりを持ちながら、教育で完結する部分、我々の専門性が発揮できる部分では発揮してもっといろんな社会資本、社会の知恵をとり入れた教育委員会でありたいと思います。</p> <p>そう考えると学力とか指導とかよりも、皆さんの地域・社会の力をコーディネートする立場というのこれからあり方かなと思います。そうすると、民間保育所整備事業なり、留守家庭の事業なり、皆の力を借りて進めていくという風にしていきたいと思いますので、民間保育所整備事業もこれからも進行していきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>教育長から28年度の取り組みについて、報告をいただきました。今までご提案をいただいていることについての報告だったと思います。色んな機会をもって私も報告を受けていますので、再確認をさせていただいたところです。それぞれの委員の方から、その分野についての考えと提案もいただきました。</p> <p>服部委員には天然記念物等、自然の関係で立場を上手く活用していただいて、川西のためにご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。さきほどご報告いただきました清和台の「シロバナウンゼンツツジ」を私も拝見しましたが、世話をするのが大変です。私も見るまで知りませんでした。色んな資源が在るというのはおっしゃるとおりだと思います。ただ指定するだけではなく、活かして行く方向が必要かなと思います。</p> <p>そこで看板というのが、どの程度のものできて、皆に知らせる方法とか、他にツールなど、いろんな形で皆さんに理解していただけたらと思います。水明台の溪のサクラの会はそういう意味で広く来て頂いているのですか。知事もお見えになったと聞いていますが。</p>
服部委員	<p>エドヒガンの大群落もすごいですが、兵庫県内の市民団体があそこを参考にしているのは、あそこの市民団体が子どもたちの学校教育の補完というか応援をしているということです。小学校3年生の体験学習の積極的な応援。しかも自分たちの地域の中の自然をきちんと管理されている。そこが非常にすごいということで、日本全国のボランティア団体というのは高齢化が進んでどんどん団体の構成員が減っているわけですが、あそこは減らないで活発的な活動が続けられていますので、全国から参考にされています。ただ、あその場所に車を止めたりしてみる事ができないので、見学はなかなか難しいです。それでも全国から参考にしたいと見学に来られています。</p>
市長	<p>いろんなことで頑張っていて、地域の方に活躍していただいています。活躍をしていただきやすくしていきたいと思っています。今、溪のサクラと菊炭の会に若干の支援をしております。いろんなところでそういうことができればいいと思います。天然記念物に指定するには規定が何かありますか。</p>
服部委員	<p>天然記念物は文化財審議会の中で審議をして天然記念物にふさわしいものだと決定され</p>

発言者	発言内容等
	<p>ば事務的な手続きに進んでいきます。文化財審議会を通れば問題はありません。</p> <p>さきほど挙げたものは、兵庫県の自然環境課という別の立場の課が自然環境条件から見て、重要であるというリストを挙げています。それを川西市としては順次天然記念物化しているということです。</p>
市長	<p>ありがとうございます。大事なことだと思いますので、今後も何かあればもっと協力したいと思います。</p>
服部委員	<p>特に先程の水明台の場合ですが、天然記念物化されたということが動機になって、よい活動力になっているということです。指定すると1件に何千万もかかるということではなくて、お金はほとんどかかっていません。市民に対してこんなに重要なものがあるということが知らせることができて、効果は非常に大きいのでぜひお願いしたいということです。</p>
市長	<p>水明台はあの時に妙見の能勢電車と同じような時期にやらせていただきました。</p>
服部委員	<p>あそこは川西里山クラブという川西市内のすごい団体がありまして、そこが頑張って補修作業等をやっておられます。川西市に住んでいたら川西のボランティア団体のレベルご存知ないと思いますが、兵庫県で抜群です。すごく積極的にやっておられてすごいレベルです。菊炭友の会と水明台だけではなく川西里山クラブ・清和台・多太神社を守る会とクラブがたくさんあります。鈴木さんから人材の問題が出ていましたが、非常にレベルが高いです。レフネックの講義を我々博物館の人間がしたときに易しすぎると怒られたくらいレベルが高いので。</p>
市長	<p>どんどん進めて行っていただいで専門的なことをしていただければ嬉しい話です。清和台の場所もそうですが土地の所有者の話がでました。大型団地の周囲というのは市の土地にいただいでいる部分がありますので、そんなところにあるのであれば、手続きが進みやすいかもしれませんね。</p>
服部委員	<p>清和台の場合は、市長が決定すれば、すぐ天然記念物の申請ができると思います。</p>
市長	<p>そうですね。団地をとりまいてるのは、たぶん市の所有ですから。</p> <p>磯部委員からの意見について、私もその通りだと思います。3点ほど絞ってお話をいただいたと思います。</p> <p>2点目の読書の力なんて非常に大事なことです。資料をいただきましたが、このグラフは伸びているのですか。</p>
磯部委員	<p>「読書は好きですか」という質問に対して、上が全国の数字です。下が川西市で、平成25年のときよりも28年の方が小中学校共に伸びています。特に中学校の伸び率は倍以上で、全国平均を上回っています。これは読書活動が大事だという認識のもとです。</p> <p>国語力というのは特に全ての教科の基礎になるという考えのもと数年前から小中学校で意図的に読書の時間を設けました。読むという事を続けてきた結果、本を読むのが好きだという児童や生徒が増えたのだと思います。</p>
市長	<p>成果がこのようにはっきり出てきているというのは嬉しい事ですね。少し観点が違うのですが、先日この蔵書の件で本を確保するのにかえっこバザールというのがあって、あるショッピングセン</p>

発言者	発言内容等
磯部委員	<p>ターで本を読んだ人がそこに置きにいて次の人が持っていくという話がありました。うちはやっているのですか。先日、伊丹に行ったら同じことをしていましたので、うちもやっていたのかと思ひまして。</p> <p>市長がおっしゃったように川西市でやっているまちかど美術館のような、いろんなところで美術に触れることができるというようにまちかど図書館のようなものがあるのかなと思って、小さいスペースでもあればいいなと思っています。自分たちが持っている蔵書を寄付するでもいいですし、子どもたちだけではなく大人も読書に触れるというか、どこでもそういう機会を増やしていけたらと思っています。</p>
市長	<p>外国語支援、これも比較的早く取組みをさせていただいております。</p> <p>いろんなことを活用しながら、だいぶ定着してきていますのでいい成果が出ていると思います。これからも進めていきたいと思っています。</p> <p>タブレットの件につきましては、環境整備がいますと思っています。教育長の話では、どうも管理者の校務支援に非常に役立っているという話でしたが、磯部委員からは、子どものほうにもということがありました。その通りだと思います。しかし、いろんなことが発生しますので、その辺は何かいい方法がないか研究していきたいと思っています。</p> <p>今学校のほうでこれを取り入れた事によって、学校の先生の負担がずいぶん減ったという報告が教育長からありましたが、その辺はどうですか。</p>
教育長	<p>例えば名簿1つとっても各学校バラバラで、ずっと6年生まで名簿1つを使いますから出席の取り扱い、進路、学習成績なんかも16小学校7中学校同じシステムを活用すれば、転勤なさらなくても同じシステムで管理できます。学年とか担任でやっていたのを学校が共通でできるようになります。時間の無駄がなくなり、その分教育活動に充てられるというのは確実に出ていますのでありがたいです。</p>
市長	<p>いろんな活用方法はあると思いますので、その辺りは考えながらいきたいと、ご提案をいただきました。</p> <p>鈴木委員からは、子育てについての大事な話です。うちの場合は地域や地区に非常に力を入れていただいているということでお話をいただきました。まさに国のほうも文科省や厚労省でいっている時ではないということで、放課後子ども教室とか留守家庭についても一緒にやっていると進んできております。</p> <p>市のほうでもそれなりに対応していかないといけないと思っています。6年生まで預かる。確かに教育の観点から見たらどうなのかなとも正直思います。上級生が下級生を見るとか、何かそういうような繋がり、遊び仲間としても指導していくのも人として成長していくなかで大人から言われるのも大事ですが、そういうのも活用方法にならないかなと私は思います。ですからその制度の中で大人の人にどんどん教えていただく、管理者がいるとか、危険だとかそういう観点もあるでしょうが、その中で子どもたちのこういうことも活用できたらと思います。女性活躍時代となると必要かなということがありますので、地域の方と連携しながら進めていけたらと思います。</p> <p>加藤委員からも民間保育所の事業ということでありましたが、大きくやはり世の中の構造が変わっていく中で、今のシステムをどう構築していくのかということは大きなことだと思います。</p> <p>時代の流れで子どもの教育というのがどういう風にやっていけるのか非常に難しい話だと思いますが、子どもの保育所だけのことに限って言ひましても待機児童がけっこういる。市としてもいろいろと施設を充実させてはいますが、なかなか追いつかないのが現状です。</p>

発言者	発言内容等
	<p>その中で指導者について、どうしていくかを構築していかないと施設だけあってもいけないと思いますから。そこもしっかりやっていきたいと思います。</p> <p>民間の力を借りながらということもございますが、そこは上手に活用をしていく必要があると思います。いずれの場合も子どもたちの将来にとって何がいいのかきちんとした指導者がこういう指導方針が良いのではないかとこのことを調整して行く必要があるのかなと思います。</p> <p>いただいた意見をいろいろ議論してシステムを作りながら進めていきたいと思っておりますので、これからもぜひ前向きな対応をお願いしたいと思います。</p> <p>私の想いとしては、いろいろななかたちで、困っている子どもたちを救っていきたくて思いますが、あまりにもそういう分野がいきすぎて、なんでもかんでも充足してお腹いっぱいになると人は育たないと私は思いますので。ひもじい思いをしるとは言いませんが、その辺の見極めをすることは必要だと思います。助けてあげる事は大事ですけど、本人の努力、悔しさ、そんなことがしっかりできる教育が必要だと思っています。</p> <p>それでは、他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようでしたら、以上をもちまして総合教育会議を終了します。</p>

以下会議の事項を記録し、相違ないことを認めたので、ここに署名いたします。

平成 28 年 12 月 22 日

川 西 市 長 大 塩 民 生

川西市教育長 牛 尾 巧